

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

(11)Publication number : 11-346352  
(43)Date of publication of application : 14.12.1999

H04N	7/16
G06F	3/12
H04N	5/44
H04N	7/08
H04N	7/081

(72)Inventor : TOYODA NAOHIKO  
FUKUSHIMA MICHIIRO  
HOSHINO KIYOSHI  
KATO AKIYOSHI  
NAGOYA TETSUO  
TSURUFUSA HIDEO

Figure 1 is a block diagram of a facsimile machine. It shows a central dashed box labeled '1' representing the main system. The components within this box are: a '送信部' (Transmitting Unit) at the top left, connected to a '送信機' (Transmitter) (5); below the transmitter is the '入力装置' (Input Device) (9); to the right of the input device is the '受信機' (Receiver) (11), which is connected to a '受信部' (Receiving Unit) (13); below the receiving unit is the '印刷機' (Printer) (15); to the right of the printer is the '制御部' (Control Unit) (17). At the bottom right is the '電源' (Power Supply) (31). The entire system is connected to a '送受信機' (Transceiver) (41) at the top right. The diagram is labeled '図1' (Figure 1) at the bottom left.

## 2003/09/02 17:23

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-346352

(43)公開日 平成11年(1999)12月14日

(51)Int.Cl.<sup>8</sup>

識別記号

F I

H 0 4 N 7/16

H 0 4 N 7/16

A

G 0 6 F 3/12

G 0 6 F 3/12

W

H 0 4 N 5/44

H 0 4 N 5/44

Z

7/08

7/08

Z

7/081

審査請求 未請求 請求項の数7 O L (全 8 頁)

(21)出願番号

特願平10-153025

(71)出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(22)出願日

平成10年(1998)6月2日

(71)出願人 000221029

東芝エー・ピー・イー株式会社

東京都港区新橋3丁目3番9号

(72)発明者 豊田 直彦

東京都港区新橋3丁目3番9号 東芝エー・ピー・イー株式会社内

(72)発明者 福島 道弘

神奈川県横浜市磯子区新杉田町8番地 株式会社東芝マルチメディア技術研究所内

(74)代理人 弁理士 大胡 典夫 (外1名)

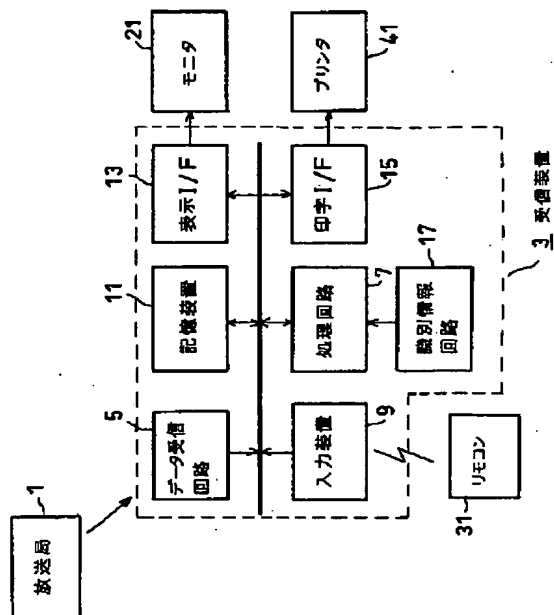
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 クーポン生成装置並びにサーバ装置並びに受信機

(57)【要約】

【課題】 クーポン利用者へ個人情報記載時の利便性を増大させる事により個人情報記載への抵抗感をなくす。

【解決手段】 データ受信回路5を介して、放送波から全クーポン情報(各店名、各クーポン有効年月日、各商品、各商品の価格等)を抽出し、モニタ21に表示する。リモコン31によりクーポン情報を選択し、これに記憶装置11に記憶されている個人情報と識別情報回路17からのクーポン生成装置固有の固有情報とを合わせてプリンタ41によりクーポンを印刷出力する。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 放送波から 1 以上のクーポン情報を抽出保持する抽出保持手段と、  
前記抽出保持手段に保持された 1 以上の前記クーポン情報を表示する表示手段と、  
表示された 1 以上の前記クーポン情報の中から所望の前記クーポン情報を選択する入力手段と、  
個人情報を入力保持する入力保持手段と、  
自己固有の固有情報と前記個人情報と選択された前記クーポン情報を合わせてクーポンを印刷出力する印刷手段とを具備したことを特徴とするクーポン生成装置。

【請求項 2】 前記個人情報は、クーポン生成装置使用者の電話番号、郵便番号、住所、性別、氏名などの情報の内、少なくとも 1 つであることを特徴とする請求項 1 に記載のクーポン生成装置。

【請求項 3】 前記印刷手段は、前記固有情報と前記個人情報と前記クーポン情報をバーコードなどにエンコードして印刷出力することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のクーポン生成装置。

【請求項 4】 前記個人情報は、暗号化キーによって暗号化されて印刷出力されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のクーポン生成装置。

【請求項 5】 請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 つのクーポン生成装置で印刷出力された前記クーポンから前記固有情報と前記個人情報と前記クーポン情報を読み取る読み取り手段と、  
前記固有情報毎に前記個人情報と前記クーポン情報を分別して蓄積する蓄積手段とを具備したことを特徴とするサーバ装置。

【請求項 6】 前記蓄積手段から前記固有情報毎の前記クーポン情報を読み出し送信することを特徴とする請求項 5 に記載のサーバ装置。

【請求項 7】 請求項 6 に記載のサーバ装置から送信されてきた情報の内、自己の前記固有情報に該当する前記クーポン情報を抽出保持する抽出保持手段と、  
前記抽出保持手段に保持された前記クーポン情報を表示する表示手段とを具備したことを特徴とする受信機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、デジタル放送から 1 以上のクーポン情報を入手し所望のクーポンを印刷出力するクーポン生成装置、並びにクーポン利用者の顧客状況を管理するサーバ装置、並びに顧客の家計簿作成を容易にする受信機に関する。

## 【0002】

【従来の技術】TV放送やCATVを使い、テレビ視聴者の要求によりクーポンの生成をする方法とその使用方法については、特表平 9 - 5 1 1 3 7 3 号のような提案がなされている。

【0003】この従来の技術では、受信装置においてデ

2

ータチャンネルを受信し、受信データからクーポン情報を抽出する。クーポン情報を抽出すると、画面上に表示または音によりユーザに通知し、ユーザ操作によって、プリンタでクーポンを印刷するものである。

【0004】このように、一般的にはクーポンが各家庭の受像装置機かそれに付随する機器に接続されたプリンタによって印刷出力され、それを販売店などへもって行くことでユーザへのメリットが供与されるシステムになっている。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】従来のシステムでは、クーポン発行者のクーポン配布効果確認および顧客情報管理手段としてはクーポンに利用者の住所／氏名／年齢／職業といった個人情報を記入してもらうしかなかった。

【0006】これは個人情報の流出につながるとして嫌われており、クーポン利用の減少につながる。

【0007】また、近年個人情報の管理についての認識が高くなるにつれ、個人情報を扱うことには慎重にならざるを得ない状況になっている。特に平文で書かれた個人情報の流出などの露見は社会的にも許されざる行為とされている。これはクーポン利用者とクーポン情報発行者との間でクーポン回収を行う市中の販売店などにもあてはまる。

【0008】このように個人情報記載を拒否したいクーポン利用者と広告効果を確認したいクーポン情報発行者側および中間の回収者との問題は従来の方法では解決されず、ひいてはクーポン利用やクーポン発行について消極的であったといえよう。

【0009】また、仮にクーポン利用者が個人情報を記載してクーポンを利用しようと思ってもクーポン発行の数や種類が増えた場合には、いちいち手書きで個人情報を記載することは利用意志を減退させる要因となっている。

【0010】いわば従来のシステムではクーポン利用者の利便性とクーポン発行者の要求とを満たすことが出来ないという問題点があった。

【0011】さらにクーポン利用者にとっては、個人情報の記載にはメリットが無かった。たとえばクレジットカードやメンバーズカードによって購入した場合は後から使用明細書などが送付されるので、家計簿作成の役に立つが、従来のクーポン利用では自分でレシートを見て家計簿をつけるしかなく、金銭管理などの面でもメリットがないため特に個人情報の記載には慎重になるという問題があった。

【0012】そこで本発明は、上記のような点に鑑みてなされたもので、クーポン利用者へ個人情報記載時の利便性を増大させる事により個人情報記載への抵抗感をなくすクーポン生成装置、並びにクーポン発行者の顧客管理要求を満たすサーバ装置、並びにクーポン利用者の家

計簿作成を容易にする受信機を提供することを目的とする。

#### 【0013】

【課題を解決するための手段】放送波から1以上のクーポン情報を抽出保持する抽出保持手段と、前記抽出保持手段に保持された1以上の前記クーポン情報を表示する表示手段と、表示された1以上の前記クーポン情報の中から所望の前記クーポン情報を選択する入力手段と、個人情報を入力保持する入力保持手段と、自己固有の固有情報と前記個人情報と選択された前記クーポン情報を合わせてクーポンを印刷出力する印刷手段とを具備したことを特徴とする。

#### 【0014】

【発明の実施の形態】図1に、本発明のクーポン生成装置の一実施の形態の主要部分の構成を示す。

【0015】各事業者のクーポン情報は、映像信号、音声信号などに多重され、放送波として放送局1から送信される。

【0016】各クーポン生成装置は、多重された全クーポン情報（各店名、各クーポン有効年月日、各商品名、各商品の価格等）を、データ受信回路5で抽出し、処理回路7に出力する。処理回路7は、入力された全クーポン情報を、記憶装置11に記憶させる。

【0017】クーポン情報を受信した場合に、リモコン31あるいはマウスなどの入力装置9により、モニタ21への印刷設定がなされていれば、処理回路7は、記憶装置11から全クーポン情報を読み出して表示I/F13に出力する。

【0018】表示I/F13は、モニタ21にクーポン情報を表示する。あるいは、音声信号と共にクーポン情報が受信されたことを知らせる。

【0019】入力装置9によるクーポン表示許可などの各種設定値データ、受信した全クーポン情報やユーザーの電話番号、住所、氏名、年齢などの個人情報が、記憶装置11に記録されている。

【0020】また、各クーポン生成装置を識別することができる固有情報を、識別情報回路17から処理回路7に出力する。処理回路7は、前記固有情報をクーポン印刷データとして付加して印字I/F15に出力する。

【0021】次に、図2を用いて、クーポン生成手順を説明する。

【0022】放送局1から送信された放送波を、クーポン生成装置のアンテナ4で受信し、データ受信回路5は、データ受信回路5で全クーポン情報を抽出し、処理回路7に出力する。処理回路7は、入力された全クーポン情報を、記憶装置11に記憶させる。

【0023】記憶された全クーポン情報は、受信されたことをモニタ21の画面に知らせる。あるいは音声とともにユーザーに知らせる。

【0024】ユーザーは、クーポン情報を受信したこと

を認識し、リモコン31などの外部入力装置並びに入力装置9によりクーポン印刷操作を行う。

【0025】クーポン印刷操作において、受信された全クーポン情報が画面に表示され、リモコン31またはマウスなどで、ユーザーはその中から希望するクーポン情報を選択する。そして、ユーザーはこのクーポン情報とともに、印刷する記憶装置11に記憶されている個人情報を選択することができる。

【0026】この個人情報は、リモコン31やマウスより入力され、入力装置9を介して記憶装置11に記憶されている。また個人情報が入っているICカードなどの他のデバイスによるデータ入力により、個人情報が記憶装置11に記憶されている。この個人情報の付加により、個人情報入力の実便性を増大させる。

【0027】クーポン発生装置固有の固有情報を、個人情報およびクーポン情報と同時に印刷する。

【0028】また、クーポン印刷において固有情報と個人情報とクーポン情報を、バーコードなどでエンコードして印刷してもよい。このバーコード印刷により、個人情報の不正な入手を防止できるとともに事業主や小売商などはクーポン回収による情報収集が容易に敏速になる。

【0029】次に、クーポンと引き換えに商品を購入する例を説明する。

【0030】図4に、本発明のサーバ装置61並びに受信機50の一実施の形態の主要部分の構成を示す。そして図5は、本発明のサーバ装置61並びに受信機50の一実施の形態を模式的に示す図である。なお、受信機50は、クーポン生成装置と同一構成であるため、各構成ブロックには、図1と同一の参照符号を付している。

【0031】クーポン生成装置で印刷した固有情報を含んだクーポン（本実施の形態の形態では、図3に示す如く、固有情報と個人情報とクーポン情報は、バーコードで印刷されている）は、サーバ装置61におけるレジのバーコードリーダである読み取り装置63で読み取られ、処理回路65は、固有情報と個人情報とクーポン情報とに分け、固有情報毎に個人情報とクーポン情報（店名、クーポン有効年月日、各商品名、各商品の価格等）を分類して、記憶装置67に記憶する。

【0032】図6に、サーバ装置61でのクーポン、会員カード読み取り、データ蓄積の模式図を示す。

【0033】この時、クーポン情報に付随する情報（客に渡した商品のシリアル番号など）も同時に記憶しても良い。また、一方で読み取られたクーポン情報をもとにお客に商品を引き渡し、代金を受け取る。

【0034】このようにすることで、お店側としては個人情報から特定できる範囲において、お客が、どのような商品を購入したかを知ることができる（例えば、特定商品の地域毎、お客の年齢層毎の売れ行き状況など）。

【0035】なお固有情報は、上記ではクーポン生成装

5

置が印刷したクーポンから入手する例を述べたが、会員カードから直接、またはお店の有する会員カードに対応づけられたデータベース（図 7 参照）から入手することが考えられる。

【0036】上記のようにお店のサーバ装置 6 1 に蓄えられた情報をお店で活用するだけでなく、固有情報毎に分類したクーポン物情報を、記憶装置 6 7 から読み出し、送信装置 6 9 により放送波にのせて、各家庭の受信機 5 0 に送信する。

【0037】放送波を介して放送された固有情報毎のクーポン情報（店名、クーポン有効年月日、各商品名、各商品の価格等）は、アンテナ 4 およびデータ受信回路 5 を介して処理回路 7 に送られる。

【0038】そして処理回路 7 は、識別情報回路 1 7 からの固有情報と一致するクーポン情報だけを記憶装置 1 1 に蓄積する。これにより、固有情報で特定できる個人の買い物情報が蓄積できる。

【0039】また、クーポン情報に例えば地域の特定期間が付加されていれば、地域全体での買い物情報が蓄積できることになる。（当然、お店側でクーポン情報としてどのレベルまでの地域の特定期間を付加して送信するかによる。）

処理回路 7 の指示により、記憶装置 1 1 に保持されたクーポン情報である買い物情報を読み出して、表示 I / F 1 3 に出力し、モニタ 2 1 に表示することで、図 8 に示すように固有情報に該当するクーポン情報である買い物情報の一覧を作成できる。つまりクーポン生成装置と一致する受信機 5 0 が特定できれば、家計簿が作成できる。

【0040】以上、消費者がクーポンを使用時に個人情報（氏名、電話番号、住所、年齢など）を毎回書く手間を省ける。また、クーポンへの印刷において個人情報を暗号化することで、不必要な情報の漏洩を防ぐことができる。

【0041】さらに固有情報および個人情報を、バーコードなどの電氣的に集計しやすい形態で印刷することで、クーポン利用者の個人情報の不正な入手を防止できるとともに、事業者あるいは小売店でのクーポン情報の集計が容易に敏速に行うことができる。

6

【0042】固有情報を付加したクーポンを用いて買い物し、お店で作成したデータベースを放送波を用いて送信し、受信機 5 0 側で、固有情報を用いてデータのフィルタリングを行いつつ、データを蓄積することで、お店だけでなく、客側でもクーポン情報である買い物情報を有効に利用することができる。

【0043】

【発明の効果】以上本発明によれば、クーポン利用者へ個人情報記載時の利便性を増大させる事により個人情報記載への抵抗感をなくすクーポン生成装置、並びにクーポン発行者の顧客管理要求を満たすサーバ装置、並びにクーポン利用者の家計簿作成を容易にする受信機の提供が可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明のクーポン生成装置の一実施の形態の主要部分の構成を示すブロック図である。

【図 2】図 1 のクーポン生成装置によりクーポン生成手順を説明するための図である。

【図 3】図 1 のクーポン生成装置によるクーポン印刷を示す模式図である。

【図 4】本発明のサーバ装置並びに受信機の一実施の形態の主要部分の構成を示すブロック図である。

【図 5】図 4 のサーバ装置並びに受信機を模式的に示した図である。

【図 6】サーバ装置でのクーポン情報、会員カード読み取り、データ蓄積を示す模式図である。

【図 7】お店が持っているデータベースを示す図である。

【図 8】受信機でのクーポン情報である買い物情報の表示を示す模式図である。

【符号の説明】

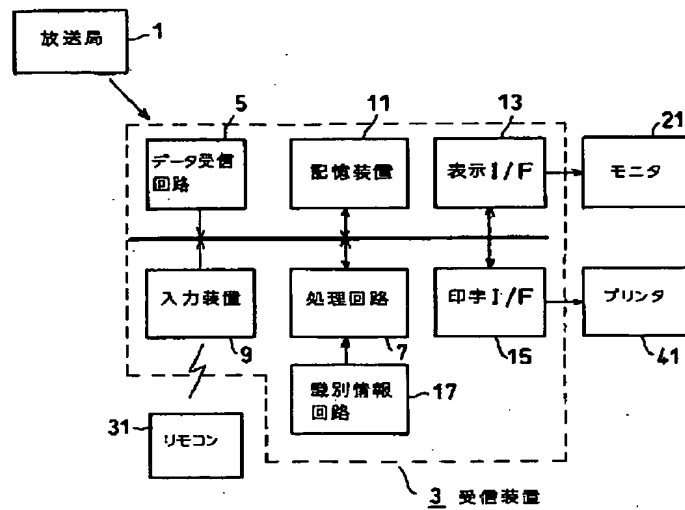
3・・・受信装置、5・・・データ受信回路、7・・・処理回路、9・・・入力装置、11・・・記憶装置、13・・・表示 I / F、15・・・印字 I / F、17・・・識別情報回路、21・・・モニタ、31・・・リモコン、41・・・プリンタ、50・・・受信機、51・・・受信装置、61・・・サーバ装置、63・・・読み取り装置、65・・・処理回路、67・・・記憶装置、69・・・送信回路。

【図 7】

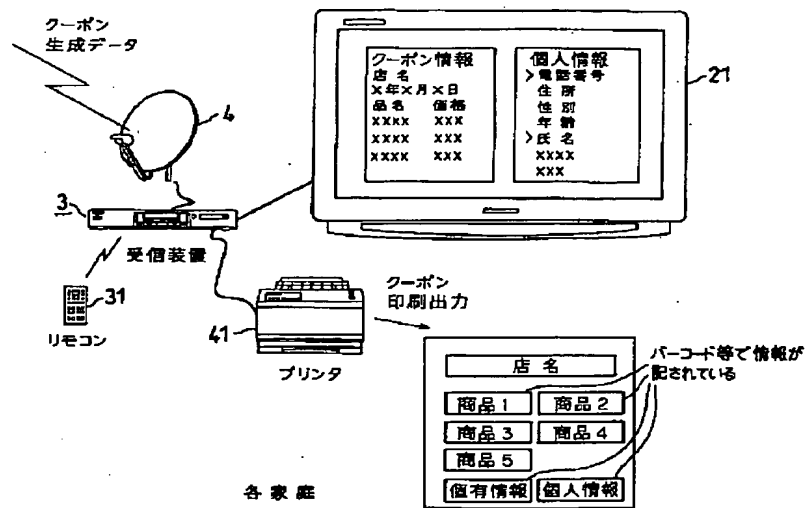
個人情報		固有情報
会員カード ID	氏 名	住所
XXXXXX	△△△△	〇〇〇〇
		受信装置 ID
		XXXXXXXXXX

お店が持っているデータベース

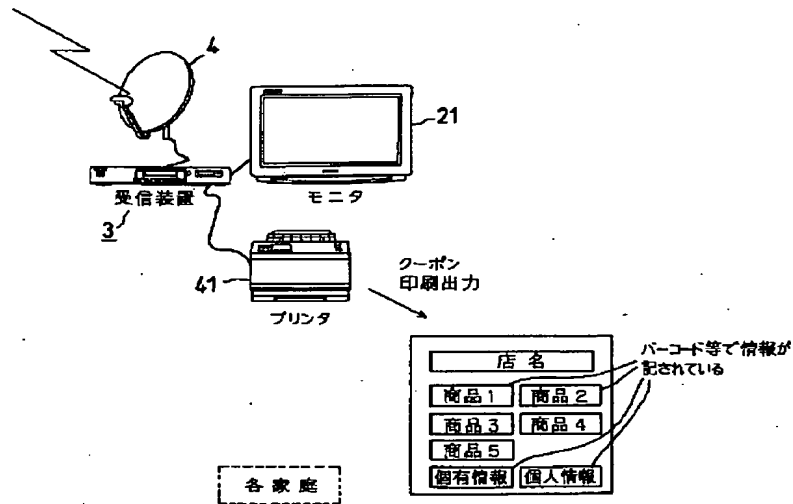
【図 1】



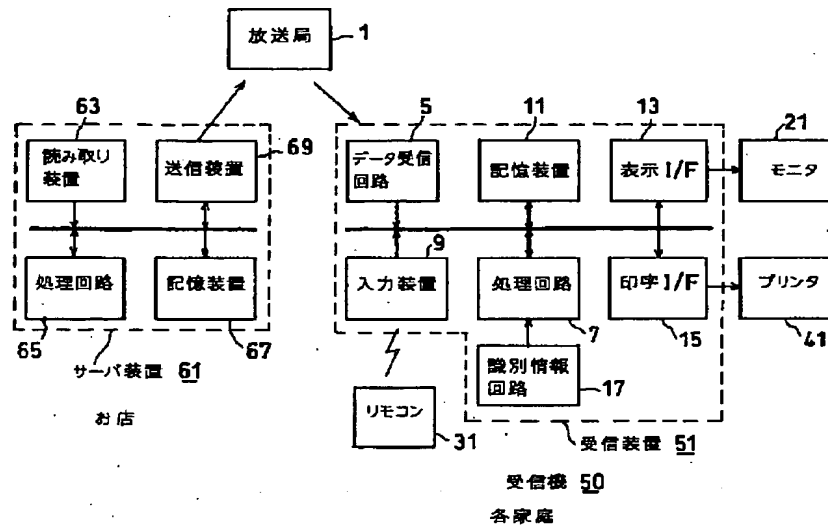
【図 2】



【図 3】

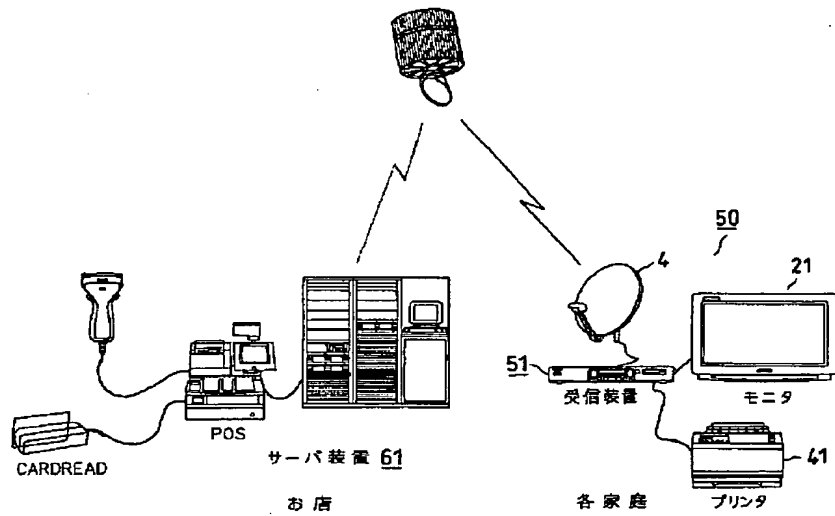


【図 4】

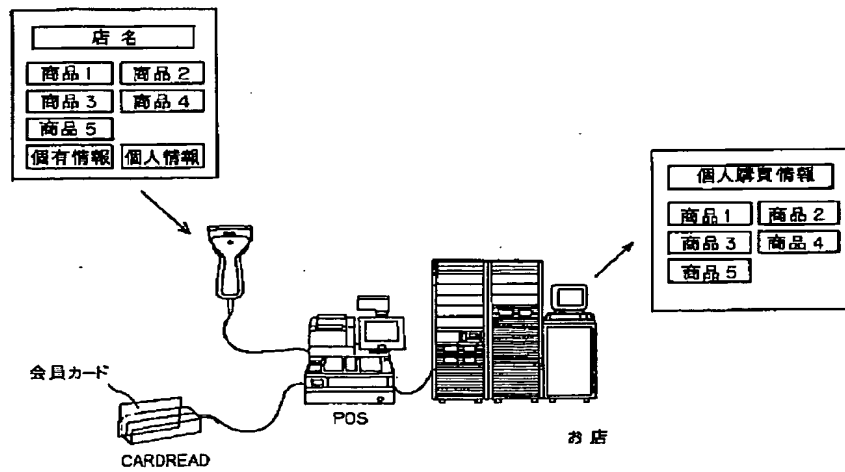




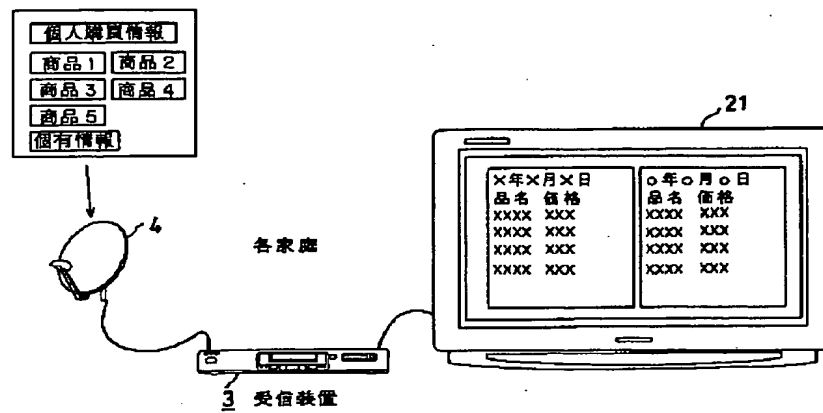
【図5】



【図6】



【図8】



フロントページの続き

(72)発明者 星野 潔  
神奈川県横浜市磯子区新杉田町8番地 株  
式会社東芝マルチメディア技術研究所内

(72)発明者 加藤 昭慶  
東京都港区新橋3丁目3番9号 東芝エ  
ー・ビー・イー株式会社内

(72)発明者 名古屋 哲雄  
神奈川県横浜市磯子区新杉田町8番地 株  
式会社東芝マルチメディア技術研究所内

(72)発明者 鶴房 秀夫  
神奈川県横浜市磯子区新杉田町8番地 株  
式会社東芝マルチメディア技術研究所内